

## クラシカ・ジャパン開局 20周年記念作品 『ピアソラ 永遠のリベルタンゴ』 12月1日 Bunkamura ル・シネマほかにて全国公開

株式会社東北新社（東京都港区・植村 徹社長）は当社が運営する、日本唯一のクラシック音楽専門テレビチャンネル、クラシカ・ジャパンの開局 20周年を記念して、フランス・アルゼンチンと共同製作した『ピアソラ 永遠のリベルタンゴ』（原題:PIAZZOLLA THE YEARS OF THE SHARK）を共同配給し、本年 12月1日(土)より Bunkamura ル・シネマほかにて全国順次公開いたします。

本作は、タンゴ界に革命を起こした 20世紀の偉大な作曲家の一人、アストル・ピアソラの没後 25周年を記念して 2017年に製作されたドキュメンタリーです。名曲リベルタンゴで知られるピアソラは、バンドネオン奏者として活動しながら、伝統的なタンゴにジャズやクラシックなど異なるジャンルの音楽をあえて取り入れ、独自の“ヌエヴォ・タンゴ”（新しいタンゴ）というスタイルを編み出しました。彼の楽曲は、ヨーヨー・マやクロノス・クアルテットといった音楽家にもこよなく愛され、いまだに演奏され続けています。



生前ピアソラ自身が自己最高の音楽形態と称する「ニュー・タンゴ・クインテット」時代の音楽をふんだんに使用し、様々な葛藤を抱えながらも“踊りのための伴奏音楽”といわれたタンゴを伴奏から主奏へと昇華させた、ピアソラの想像力の源と魅力に迫ります。また、制作を手掛ける息子ダニエル・ピアソラから見た「父、アストル」の生涯という視点、ピアソラ家の貴重なアーカイヴ映像も見所です。

アーティストとして、父親として葛藤するアストル・ピアソラが時代や音楽に闘いを挑んだ生き様を描き出した、息子が父に捧げる垂涎のドキュメンタリーです。ぜひご注目ください。

### 『ピアソラ 永遠のリベルタンゴ』

(原題:PIAZZOLLA THE YEARS OF THE SHARK)

監督：ダニエル・ローゼンフェルド 出演：アストル・ピアソラほか

2017 /フランス・アルゼンチン/英語・フランス語・スペイン語/カラー（一部モノクロ） / 94分

配給：東北新社 クラシカ・ジャパン / 国際共同製作：クラシカ・ジャパン

後援：アルゼンチン共和国大使館

© Juan Pupeto Mastropasqua

日本で唯一のクラシック音楽専門 TVチャンネル  
20th ANNIVERSARY

CLASSICA JAPAN

クラシカ・ジャパンとは ドイツで誕生した世界初のクラシック音楽専門テレビチャンネル“CLASSICA”の日本版で、1998年に開局した日本で唯一のクラシック音楽専門TVチャンネル。話題のコンサートからオペラ、バレエ、ドキュメンタリーまで、毎月100タイトル以上の音楽番組を放送中。クラシック音楽の名曲を、ホールの臨場感とともに毎日24時間お楽しみいただけます。スカパー！プレミアムサービス（637ch）、スカパー！プレミアムサービス光（637ch）、全国のケーブルテレビ局、ブロードバンドTVでご覧頂けます。

#### 東北新社会社概要

代表者：植村 徹  
設立：1961年4月1日 資本金：24億8,700万円  
事業内容：総合映像プロダクション  
<http://www.tfc.co.jp/>

12月1日(土)、Bunkamura ル・シネマほかにて全国順次公開